

今日のトピック 止まらない好調さ、インド株は高値更新 コロナワクチンの接種開始が追い風

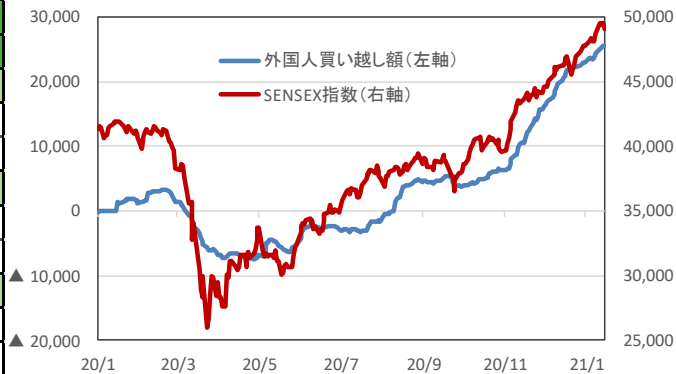
【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	1月15日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.42	0.3	0.9	▲0.1	▲8.4
ルピー/米ドル (ルピー)	73.07	▲0.2	▲0.8	▲2.8	3.2
金利 (%)					
政策金利	4.00	0.00	0.00	0.00	▲1.15
10年国債利回り	5.95	0.08	0.06	0.14	▲0.68
株価指数 (ポイント)					
SENSEX	49,034	0.5	6.0	36.0	17.1
NIFTY中型株100	21,934	▲1.2	6.1	46.7	23.0

(注) データは2021年1月15日基準。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

(百万ドル) 【SENSEXと外国人買い越し額】 (ポイント)



(注1) データは2020年1月1日～2021年1月15日。

(注2) 外国人買い越し額は2020年1月1日からの累積。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント1 SENSEX指数は過去最高値更新が続く

- インド株式市場は今年1月に入ってから、過去最高値を更新する展開が続いています。代表的な株価指数のSENSEX指数は、月初から最高値を連日で更新し、1月14日には49,584ポイントと、節目の50,000ポイントに迫りました。新型コロナウイルスのワクチン普及に伴う経済正常化への見通しから、企業収益の成長期待が高まっており、投資マネーが株式へ流入しています。グローバルなリスク選好相場が継続しているなか、海外投資家によるインド株への買い越し額は拡大しています。

ポイント2 新規感染者の減少につれてインド景気は急回復

- インドの景気が急速に回復しています。12月の総合PMI（製造業とサービス業を合わせた景況感）は54.9と、9月以降4か月連続で50超えが続いています。インド経済は昨年10-12月期に比較的速いペースで回復していたと判断されます。政府がコロナ感染抑制より経済活動を優先していることや、新規感染者数がピークアウトしていること、コロナ感染者の死亡率が低いことが背景にあると考えられます。

今後の展開 景気回復期待で堅調な地合いが続く

- インド政府は16日、新型コロナのワクチン接種を開始しました。人口が13億にのぼるインドで、政府は、夏までに3億人に接種する計画です。コロナワクチンの普及による景気回復期待を背景に、インド株式市場は堅調な地合いが続くとみられます。株価バリュエーションにはやや割高感が出ているものの、企業業績見通しの改善も明確になっており、投資家のリスク選好意欲が強まるなか、海外投資家からの資金流入が続くそうです。

ここも
チェック! 2021年1月13日 アジア・トーク「急ピッチで回復するインド経済」
2021年1月 8日 アジア・マーケット・マンスリー (2021年1月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。